

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

| 科目番号  | 科目名  | 担当者名 | 実務経験のある<br>教員による授業<br>科目 | 基礎・専門<br>別 | 単位数 | 選択・必修<br>別 | 開講年次・<br>時期 |
|-------|--|------|--------------------------|------------|-----|------------|-------------|
| 52452 | レクリエーション実技<br>Practical Skills of Recreation | 伊藤照美 |                          | 専門         | 1   | 選択         | 1年前期        |

**科目の概要**

レクリエーションによる支援の考え方について理解を深め、その中でレクリエーション・インストラクターに期待されている役割について考える。また、レクリエーション・インストラクターの資格取得に必要な、レクリエーションに関する基礎技能の習得を目指す。各レクリエーション種目とくに生涯スポーツ系のレクリエーションの支援演習を行う。また現代社会において、健康で豊かな生活を送っていくための一手段としてスポーツとともにレクリエーションは重要な役割を担っていることを理解する。

| 学修内容   | 到達目標  |
|--|---|
| ①生涯を通じて日常的な生活においてもレクリエーションが習慣化されること<br>②レクリエーションを通して、集団におけるコミュニケーション能力を高め、社会性を身につける<br>③基本的なレクリエーション技能を身につけ、基礎的な指導ができるようになる<br>④ルールや運営方法などを身につける<br>⑤様々なレクリエーション種目の紹介と実践により、レクリエーションに対する理解を深める | ①日常生活の中でレクリエーション活動が習慣化できる<br>②レクリエーション活動を通して社会性を身につけることができる<br>③レクリエーション活動の基礎的指導ができる。<br>④ルールや運営方法などを理解し、運営能力を身につけることができる<br>⑤全体を通じてレクリエーションに対する理解を深め、レクリエーション実践の意識を高めることができる |

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**

**学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

|         |             |                                       |
|---------|-------------|---------------------------------------|
| 前に踏み出す力 | 主体性         | 自分のやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む             |
|         | 働きかけ力       |                                       |
|         | 実行力         | 積極的に行動し、自分の考えを実行に移し、成果をだす             |
| 考え抜く力   | 課題発見力       | 自分のスキルを分析し、課題を見つけて対処する                |
|         | 計画力         |                                       |
|         | 創造力         | アイデアを出し、新たなレクリエーション種目を創り出す            |
| チームで働く力 | 発信力         | レクリエーションの中で相手の意見を理解し、自分の考えを発信する       |
|         | 傾聴力         | レクリエーションの中で、相手の意見を正確に理解し、チームで協力して実践する |
|         | 柔軟性         |                                       |
|         | 状況把握力       |                                       |
|         | 規律性         | 無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。     |
|         | ストレスコントロール力 |                                       |

**テキスト及び参考文献**

テキスト：①日本レクリエーション協会（2017）「楽しさをとおした心のげんきづくり レクリエーション支援の理論と方法」（必ず購入してください）  
 ②日本レクリエーション協会（2002）「楽しいアイスブレーキング」（必ず購入してください）  
 参考書：日本レクリエーション協会監修（2013）「やさしいレクリエーションゲーム」成実堂、学泉ノート

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：「レクリエーション論」、「レクリエーション実習」、「生涯スポーツ」、「アウトドア演習」  
 資格との関連：レクリエーションインストラクター、(スポーツインストラクター)

| 学修上の助言   | 受講生とのルール   |
|--|--|
| ・実技系の演習科目のため、しっかり出席しましょう。<br>・レクリエーションの楽しさを理解し、日常生活やスポーツ活動の中で、どう役立てていくかについて学んで欲しい。 | ・授業を受けるときにふさわしい服装、身だしなみであること。<br>・日頃から運動に親しみ、戸外で活動することを心がけましょう。<br>・携帯電話は必要ないので持ち込まない。<br>・授業態度の悪い学生は退席してもらおう。<br>・遅刻、欠席をしないこと、必ず連絡・報告する。<br>・出席が必要回数に満たない場合は無資格となる。 |

【評価方法】

| 評価対象                  | 評価方法         |                    | 評価の割合 | 到達目標 |   | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント  |   |   |  |
|-----------------------|--------------|--------------------|-------|------|---|--|---|---|--|
| 学修成果                  | 学期末試験        | 筆記(レポート含む)・実技・口述試験 |       | ①    |   |  |   |   |  |
|                       |              |                    |       | ②    |   |  |   |   |  |
|                       |              |                    |       | ③    |   |  |   |   |  |
|                       |              |                    |       | ④    |   |  |   |   |  |
|                       |              |                    |       | ⑤    |   |  |   |   |  |
|                       | 平常評価         | 小テスト               |       |      | ① |  |   |   |  |
|                       |              |                    |       |      | ② |  |   |   |  |
|                       |              |                    |       |      | ③ |  |   |   |  |
|                       |              |                    |       |      | ④ |  |   |   |  |
|                       |              |                    |       |      | ⑤ |  |   |   |  |
|                       |              | レポート               |       | 30   |   |  | ① | ✓ | ・毎回の課題に対して、レクリエーション活動を理解して実践してきたかどうかをレポート記録から評価する。 |
|                       |              |                    |       |      |   |  | ② |   |  |
|                       |              |                    |       |      |   |  | ③ |   |  |
|                       |              |                    |       |      |   |  | ④ | ✓ |  |
|                       |              |                    |       |      |   |  | ⑤ | ✓ |  |
| 成果発表(プレゼンテーション・作品制作等) |              | 60                 |       | ①    |   | ・学修内容について、しっかりと実践されているかどうか実技の状況を見て評価する。<br>・必要なスキルをある程度習得し、実践ゲームに活かしているかどうかを評価する。  |   |   |  |
|                       |              |                    |       | ②    | ✓ |  |   |   |  |
|                       |              |                    |       | ③    | ✓ |  |   |   |  |
|                       |              |                    |       | ④    | ✓ |  |   |   |  |
|                       |              |                    |       | ⑤    |   |  |   |   |  |
| 学修行動                  | 社会人基礎力(学修態度) | 10                 |       | ①    | ✓ | ・学修態度(10%)<br>(主体性)自分のやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組むことができる。<br>(実行力)積極的に行動し、自分の考えを実行に移し、成果を出すことができる。<br>(課題発見力)自分のスキルを分析し、課題を見つけて対処できる。<br>(創造力)アイデアをだし、レクリエーションの種目を考え実践できる。<br>(発信力)相手の意見を理解し、自分の考えを発信できる。<br>(傾聴力)相手の意見を正確に理解し、グループで協力して実践できる。<br>(規律性)学習意欲欠如をきたす行動をせず、ルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。 |   |   |  |
|                       |              |                    |       | ②    | ✓ |  |   |   |  |
|                       |              |                    |       | ③    | ✓ |  |   |   |  |
|                       |              |                    |       | ④    |   |  |   |   |  |
|                       |              |                    |       | ⑤    |   |  |   |   |  |
| 総合評価 割合               |              |                    | 100   |      |   |  |   |   |  |

【到達目標の基準】

| 到達レベルS(秀)及びA(優)の基準   | 到達レベルB(良)及びC(可)の基準   |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の中でレクリエーション活動が習慣化できる</li> <li>レクリエーション活動を通して社会性を身につけることができる</li> <li>レクリエーション活動の基礎的指導ができる</li> <li>ルールや運営方法などを理解し、運営能力を身につけることができる</li> <li>全体を通じてレクリエーションに対する理解を深め、レクリエーション実践の意識を高めることができる</li> <li>総合評価90以上はS(秀)、89~80はA(優)とする</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の中でレクリエーション活動が習慣化できる</li> <li>レクリエーション活動を通して社会性を身につけることができる</li> <li>レクリエーション活動の基礎的指導ができる</li> <li>ルールや運営方法などを理解し、運営能力を身につけることができる</li> <li>総合評価79~70はB(良)、69~60はC(可)とする</li> </ul> |

| 週    | 学修内容                              | 授業の実施方法                                    | 到達レベルC(可)の基準                              | 予習・復習                                    | 時間(分) | 能力名   |
|------|-----------------------------------|--|---|--|-------|---|
| 1週 / | オリエンテーション<br>授業のねらい、目的と内容について確認する | 授業のねらい、目的と内容について理解できる                      | 種目の概説とアイスブレーキングの実践により、レクリエーションを理解することができる | (予習)レクリエーションとはどのようなものか予習する<br>適度に運動をしておく | 60    | 主体性<br>実行力<br>課題発見力<br>傾聴力<br>規律性<br>発信力<br>創造力 |
| 2週 / | レクリエーションゲーム①                      | 実技・演習<br>教員からの説明の後、実技を実施する<br>理解確認・フィードバック | 各種目のルールを理解し、技術を主体的に習得することができる             | (予習)レクリエーションゲームについて予習する                  | 90    | 主体性<br>実行力<br>課題発見力<br>傾聴力<br>規律性<br>発信力<br>創造力 |
| 3週 / | レクリエーションゲーム②                      | 実技・演習<br>教員からの説明の後、実技を実施する<br>理解確認・フィードバック | 各種目のルールを理解し、技術を主体的に習得することができる             | 予習・復習)レクリエーションゲームについて予習・復習する             | 90    | 主体性<br>実行力<br>課題発見力<br>傾聴力<br>規律性<br>発信力<br>創造力 |
| 4週 / | レクのフォークダンス                        | 実技・演習<br>教員からの説明の後、実技を実施する<br>理解確認・フィードバック | 各種のフォークダンスを習得できる                          | (予習)フォークダンスについて予習する                      | 90    | 主体性<br>実行力<br>課題発見力<br>傾聴力<br>規律性<br>発信力<br>創造力 |
| 5週 / | フライング・ディスク①                       | 実技・演習<br>教員からの説明の後、実技を実施する<br>理解確認・フィードバック | ディスクの基本投法と基本キャッチを修得することができる               | (予習)各種のフライング・ディスクについて予習する                | 90    | 主体性<br>実行力<br>課題発見力<br>傾聴力<br>規律性<br>発信力<br>創造力 |
| 6週 / | フライング・ディスク②                       | 実技・演習<br>教員からの説明の後、実技を実施する<br>理解確認・フィードバック | 集団ゲーム、アルティメットにチャレンジすることによって積極的に理解できる      | (予習)各種のフライング・ディスクについて予習する                | 90    | 主体性<br>実行力<br>課題発見力<br>傾聴力<br>規律性<br>発信力<br>創造力 |
| 7週 / | ソフトバレーボール                         | 実技・演習<br>教員からの説明の後、実技を実施する<br>理解確認・フィードバック | ソフトバレーボールのルールを理解し、ゲームすることができる             | (予習)ソフトバレーボールについて予習する                    | 90    | 主体性<br>実行力<br>課題発見力<br>傾聴力<br>規律性<br>発信力<br>創造力 |
| 8週 / | インディアカ                            | 実技・演習<br>教員からの説明の後、実技を実施する<br>理解確認・フィードバック | インディアカのルールを理解し、ゲームすることができる                | (予習)インディアカについて予習する                       | 90    | 主体性<br>実行力<br>課題発見力<br>傾聴力<br>規律性<br>発信力<br>創造力 |

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

| 週     | 学修内容                | 授業の実施方法   | 到達レベルC(可)の基準                                 | 予習・復習                      | 時間(分) | 能力名   |
|-------|---------------------|---|--|----------------------------|-------|---|
| 9週 /  | キンボール               | 実技・演習<br>教員からの説明の後、実技を実施する<br>理解確認・フィードバック            | キンボールのルールを理解し、ゲームすることができる                    | (予習) キンボールについて予習する         | 90    | 主体性<br>実行力<br>課題発見力<br>傾聴力<br>規律性<br>発信力<br>創造力 |
| 10週 / | グラウンド・ゴルフ           | 実技・演習<br>教員からの説明の後、実技を実施する<br>理解確認・フィードバック            | グラウンド・ゴルフのラウンドにチャレンジし記録することができる              | (予習) グラウンド・ゴルフについて予習する     | 90    | 主体性<br>実行力<br>課題発見力<br>傾聴力<br>規律性<br>発信力<br>創造力 |
| 11週 / | ゲートボール              | 実技・演習<br>教員からの説明の後、実技を実施する<br>理解確認・フィードバック            | ゲートボールゲームにチャレンジし記録することができる                   | (予習) ゲートボールゲームについて予習する     | 90    | 主体性<br>実行力<br>課題発見力<br>傾聴力<br>規律性<br>発信力<br>創造力 |
| 12週 / | ターゲット・バードゴルフ        | 実技・演習<br>教員からの説明の後、実技を実施する<br>理解確認・フィードバック            | ターゲット・バードゴルフのラウンドにチャレンジし記録することができる           | (予習) ターゲット・バードゴルフについて予習する  | 90    | 主体性<br>実行力<br>課題発見力<br>傾聴力<br>規律性<br>発信力<br>創造力 |
| 13週 / | 指導実習の企画             | 実技・演習<br>教員からの説明の後、実技を実施する<br>理解確認・フィードバック            | 目的や対象に合わせたレクリエーションを考える                       | (予習) 指導内容をイメージして考える        | 90    | 主体性<br>実行力<br>課題発見力<br>傾聴力<br>規律性<br>発信力<br>創造力 |
| 14週 / | まとめ<br>指導実習(模擬授業)実践 | 実技・演習<br>プレゼンテーション発表<br>実技を伴うテストを実施する<br>理解確認・フィードバック | 指導案が完成し模擬授業が実践できる                            | (予習) 指導内容の確認をする            | 90    | 主体性<br>実行力<br>課題発見力<br>傾聴力<br>規律性<br>発信力<br>創造力 |
| 15週 / | まとめ<br>指導実習(模擬授業)実践 | 実技・演習<br>プレゼンテーション発表<br>実技を伴うテストを実施する<br>理解確認・フィードバック | 指導案が完成し模擬授業が実践できる<br>各レクリエーション種目の内容を確認し理解できる | (復習) 各種レクリエーションの名称について復習する | 90    | 主体性<br>実行力<br>課題発見力<br>傾聴力<br>規律性<br>発信力<br>創造力 |

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力